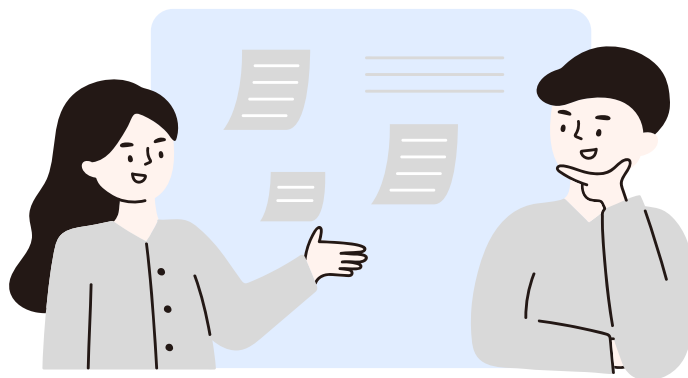


設計士・インテリアコーディネーター・営業様対象

間取り提案調査 アンケート結果

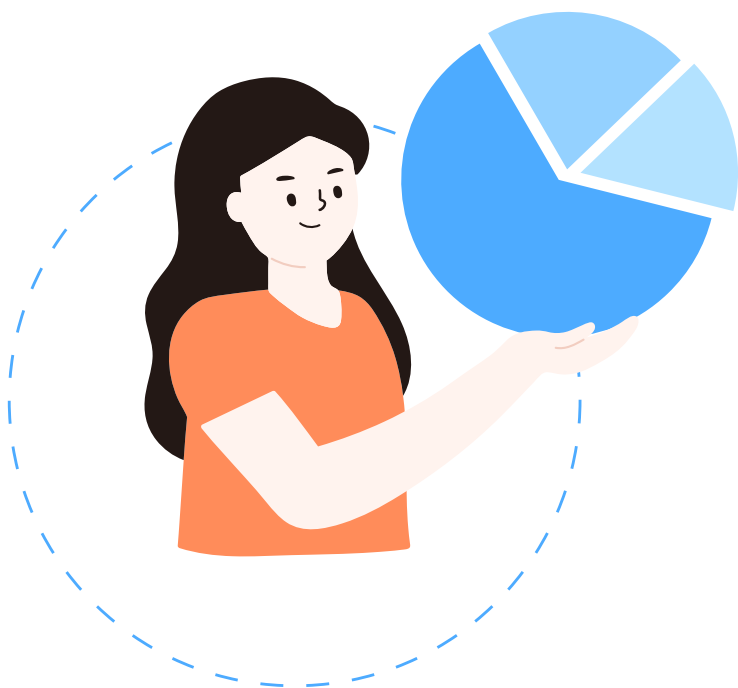


南海プライウッド マーケティングチーム



はじめに

皆様のたくさんのご協力により、業界全体から
幅広いご意見をいただくことができました。
ご協力いただき、ありがとうございました。





回答結果の概要

実施期間	2024年12月10日～12月16日
回答数	320件
回答会社数	269社
回答者の拠点数	308拠点
アンケート内容	• 基本情報 • 間取り提案における成功および失敗事例 • その他ご意見

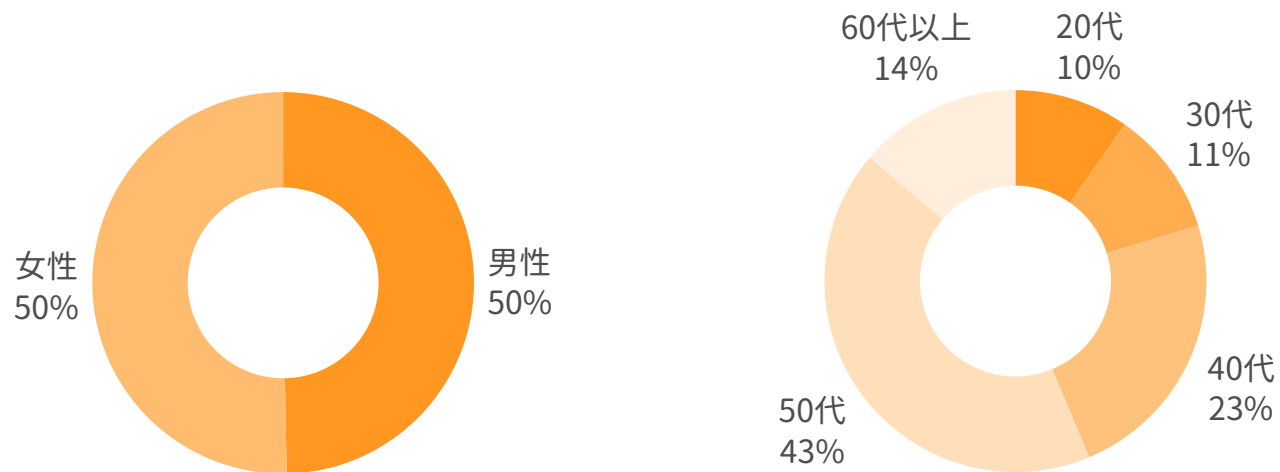


目次

回答者の属性・基本情報	1
各空間の間取り提案における成功および失敗事例	7
その他自由回答	37

回答者の属性

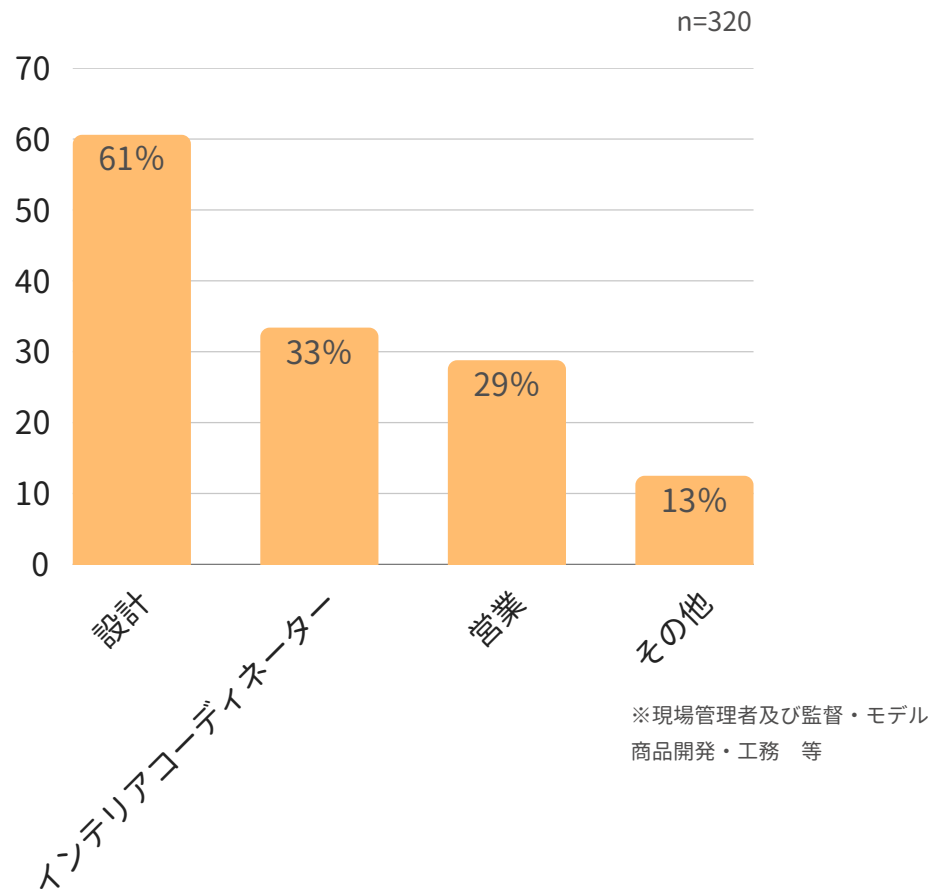
n=320



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

回答者の性別構成は、男性と女性で同じ割合であり、性別による偏りが無い回答結果になった。年代構成は特に40代（23%）と50代（43%）で66%を占め、20代（10%）・30代（11%）の割合は少数派であった。

Q：職種を選んでください。（お答えはいくつでも）



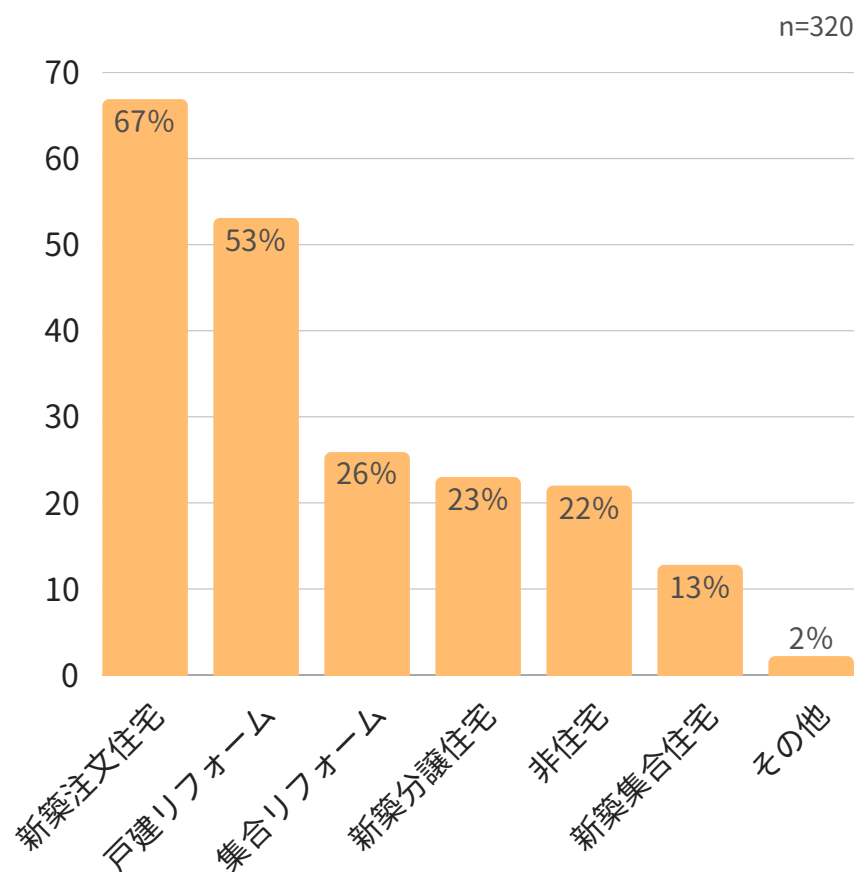
設計の回答が多い傾向

間取り提案に関するアンケートのため全体の61%が「設計」の結果となった。

次いで33%が「インテリアコーディネーター」、29%が「営業」の結果となり、両者はほとんど同じ割合となった。

また、複数の職種の兼任（職種を複数選択）が86人（27%）、専任（職種の選択が1つのみ）が234人（73%）と、専任が多数派であるといった結果となった。

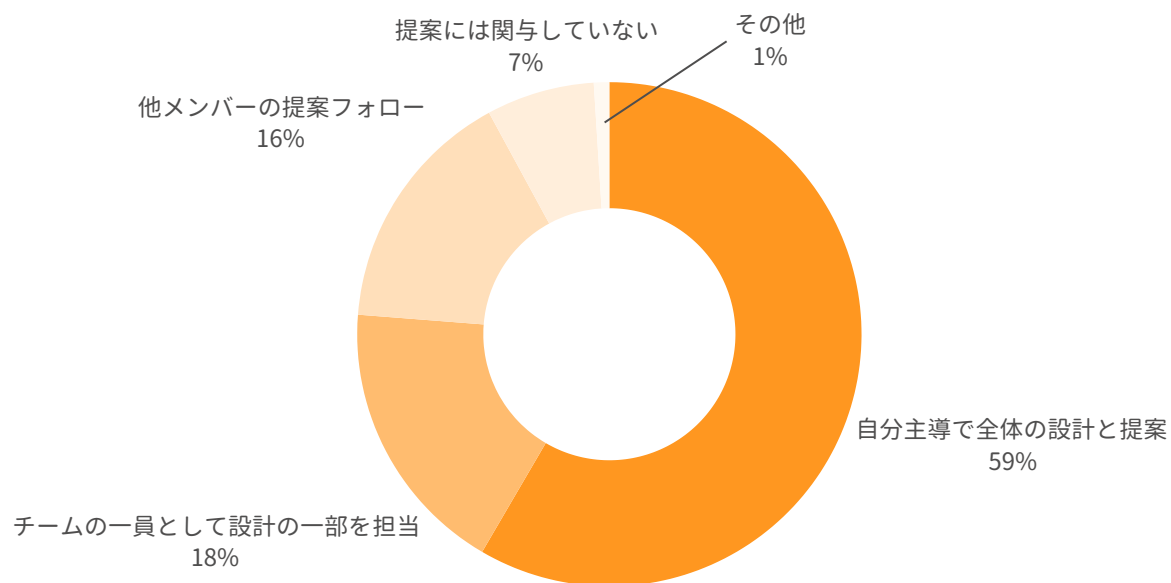
Q：業務内容について教えてください。（お答えはいくつでも）



新築・リフォーム問わず 戸建住宅が主な業務

「新築注文住宅」（67%）と「戸建リフォーム」（53%）が上位を占め、**戸建住宅が主な業務である回答者からの意見が中心**。一方で「集合リフォーム」（26%）や「新築分譲住宅」（23%）、「非住宅」（22%）など、一定数の回答は得られており、業界全体からの幅広い意見をいただくことができた。

Q：間取り提案への関与度について最も多いものを選んでください。



n=320

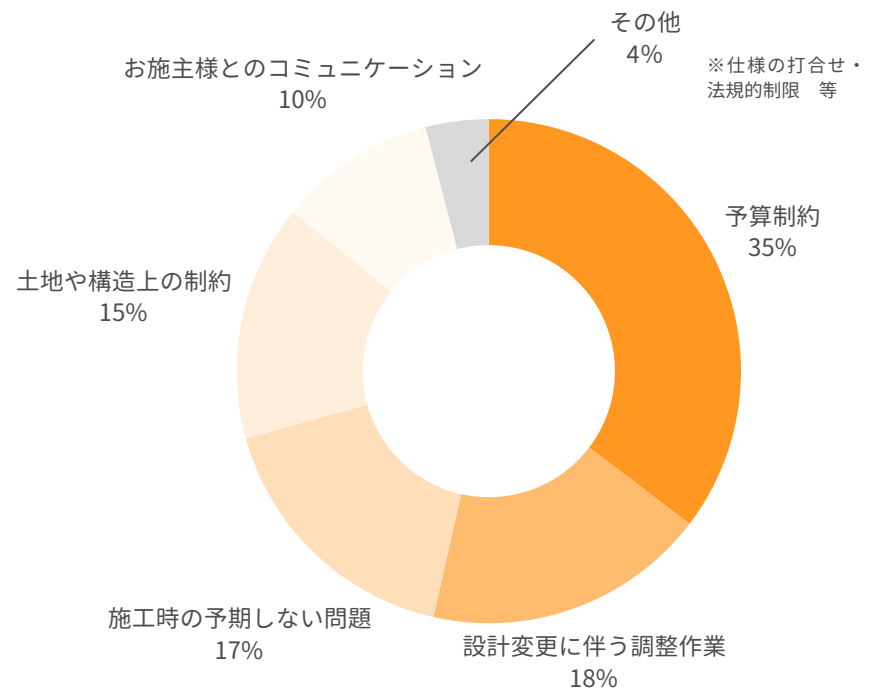
※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

自自主導での 間取り提案が半数以上

「自自主導で全体の設計と提案」が59%であり、間取り提案への関与度が高い方からの回答が多い。

「チームの一員として設計の一部を担当」(18%)・「他メンバーの提案フォロー」(16%)も含めると、何らかの形で間取り提案に関与している人が90%以上を占めている。

Q：間取り提案の中で最もストレスを感じる部分は何ですか？



n=298

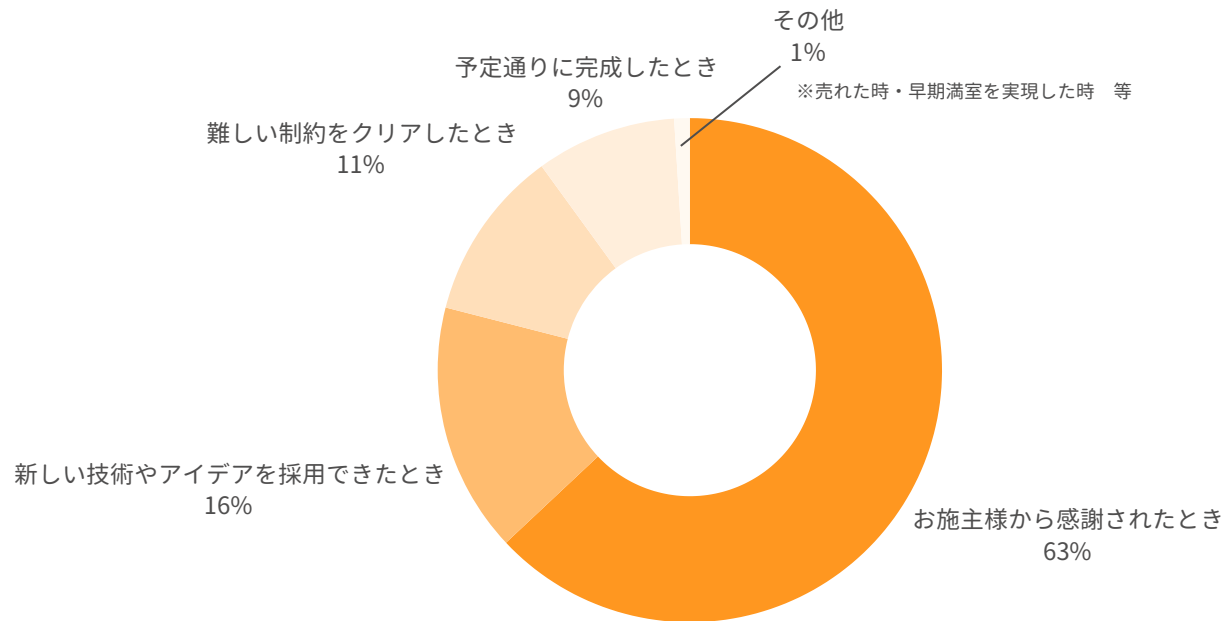
※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

予算制約が 最大のストレス

最も多かったのが「予算制約」（35%）であり、**予算内で顧客の要望を反映した間取りを反映する難しさ**にストレスを抱える人が多数存在することが分かる。

また、「設計変更に伴う調整作業」（18%）や「施工時の予期しない問題」（17%）、「土地や構造上の制約」（15%）は同程度であり、間取り提案に関するストレスは多岐に渡っていることも分かる。

Q：間取り提案の中で最も満足感を感じる部分は何ですか？



n=298

※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

お施主様からの感謝が 最大のモチベーション

「お施主様から感謝されたとき」（63%）が最も多く、**直感的な感謝やフィードバックが大きなモチベーション**であることが分かる。「新しい技術やアイデアを採用できたとき」（16%）や「難しい制約をクリアしたとき」（11%）、「予定通りに完成したとき」（9%）も一定数存在するが、主に顧客の満足度を優先している状況が想定できる。

まとめ：〇〇の間取り提案で特に印象に残っている成功事例のポイントを教えてください。

n=298

空間	空間の広さ	動線	収納量や使いやすさ	見た目のデザイン性	明るさや風通し	照明や配線	その他	特になし
玄関・シューズクローク	8%	30%	40%	9%	3%	1%	1%	9%
洗面・脱衣・ランドリー	9%	32%	33%	8%	2%	1%	1%	13%
ファミリークローゼット	8%	22%	39%	5%	2%	1%	1%	22%
ウォークインクローゼット・クローゼット	8%	12%	47%	5%	1%	1%	1%	24%
リビング・ダイニング	20%	14%	9%	27%	8%	6%	2%	15%
キッチン・パントリー	4%	26%	38%	8%	1%	1%	1%	20%

「収納量や使いやすさ」が圧倒的に成功につながりやすい

「収納量や使いやすさ」がリビング・ダイニングを除く空間で圧倒的に高い割合を示しており、各空間で収納量や使い勝手を考えた間取り提案ができると成功しやすいことが分かる。リビング・ダイニングでは「見た目のデザイン性」が最も高く、デザイン性にこだわった空間も間取り提案の成功につながっていることが分かる。

まとめ：〇〇の間取り提案で特に印象に残っている失敗事例のポイントを教えてください。

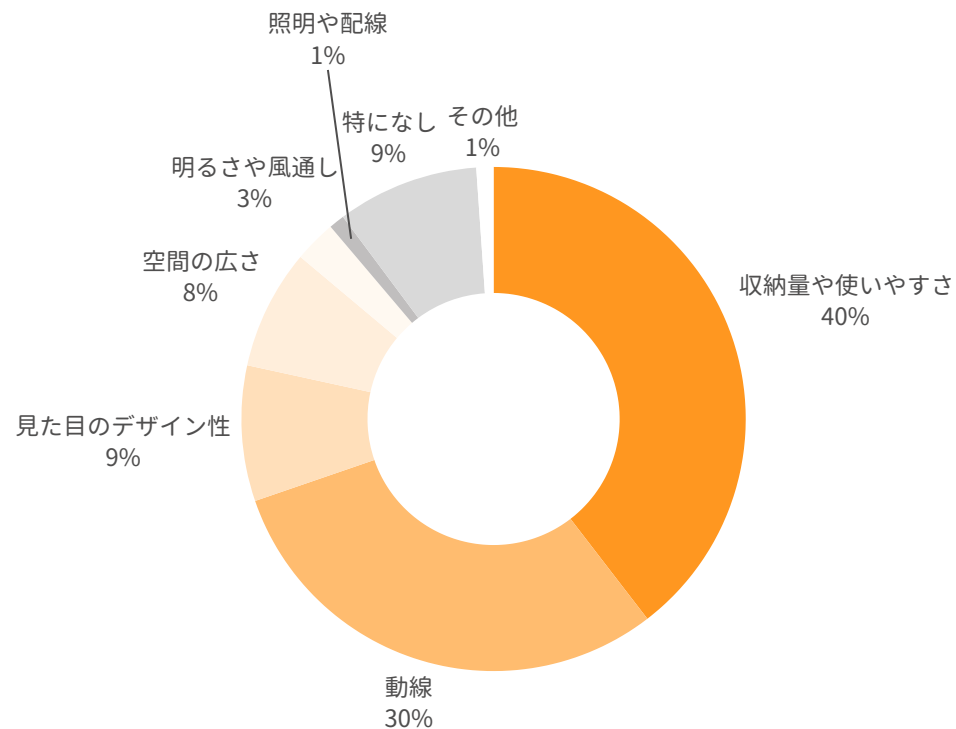
n=298

空間	空間の広さ	動線	収納量や使いやすさ	見た目のデザイン性	明るさや風通し	照明や配線	その他	特になし
玄関・シューズクローク	17%	9%	15%	7%	11%	3%	4%	35%
洗面・脱衣・ランドリー	15%	9%	16%	6%	8%	5%	6%	34%
ファミリークローゼット	10%	5%	19%	5%	3%	3%	4%	52%
ウォークインクローゼット・クローゼット	8%	8%	19%	4%	5%	3%	4%	49%
リビング・ダイニング	11%	9%	12%	9%	6%	9%	3%	40%
キッチン・パントリー	8%	13%	18%	5%	3%	5%	3%	46%

失敗しやすいのも「収納量や使いやすさ」

成功事例に続き、失敗事例でも「収納量や使いやすさ」が玄関・シューズクロークを除く空間で最も高い割合を示した。「収納量や使いやすさ」が十分に計画できていないと失敗につながりやすい。ただ、成功事例とは異なって「収納量や使いやすさ」が他選択肢を圧倒することはなく、玄関・シューズクローク、洗面・脱衣・ランドリー、リビング・ダイニングの3つの空間では「空間の広さ」が「収納量や使いやすさ」と同程度であり、そもそもの広さについても注意が必要。

Q：玄関・シューズクロークの間取り提案で特に印象に残っている成功事例のポイントを教えてください。



n=298

※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

収納量や使いやすさが 成功のカギ

「収納量や使いやすさ」が40%と最も高く、次いで「動線」（30%）という結果となった。

家の第一印象を左右する玄関やシューズクロークにおいては、**散らかりにくく常に整頓された状態を維持するための収納量や使いやすさ、外出や帰宅の際の動線を良くすることでより満足度の高い提案につながると想定できる。**

Q：前の質問（玄関・シューズクローク）で選んだ成功事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

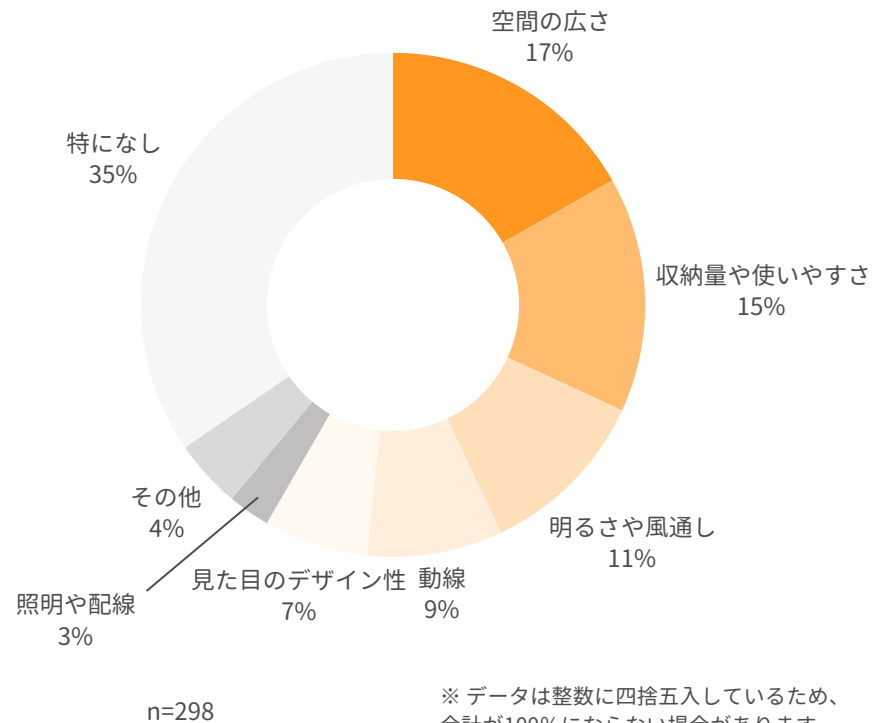
n=161

収納量や使いやすさ	「何が何処にあるかのわかりやすさ。取り出しやすさ。」 「家族の人数に合わせて収納量を考え、大人から子供まで利用しやすく高さを調整」 「玄関土間・廊下との動線を考慮。ゴルフバック、ベビーカー、コートを考慮した事」 「冬場の対策グッズ（濡れたコート掛け、ブーツ置き場）の確保」 「通り抜けにくいけど裸足で土間に降りなくても靴が取れるシューズインクロークの提案」
動線	「来客動線と家族動線を分けて提案しました。来客動線には収納を見せず、すっきりとした空間にしました。」 「玄関からシューズクロークから洗面脱衣室までの動線 スポーツあとの泥ヨゴレを直接お風呂場まで」 「車庫から入ってくる時の動線を考えた提案」
見た目のデザイン性	「上がり框に間接照明を配し玄関とシューズクロークの一体感を演出することで狭さを感じさせないよう工夫した」 「SCLとホールを仕切るドアにマガジンラックを付けて一見扉に見えないようにして生活感を消せたこと」 「しまう収納の場合圧迫感や空間の窮屈感が出てしまうので、オープンで見せる収納を提案したところ手持ちのブーツを飾りたかったので賛同いただけた」 「扉に全く取っ手のない提案は収納が多いクローゼットをスタイリッシュに見せることができた」
空間の広さ	「ドアを設けずに一体とした」 「広すぎても使いにくいので、適正量に合わせて。」 「来客動線と家族動線を分けるプランを希望する方が多い傾向にありますが、玄関が狭くなり圧迫感が出るので、面積に余裕がない場合は動線を分けて広く明るい玄関を提案するようにしています。」 「玄関ホールの圧迫感を玄関及びホール（収納）を大きくして、図面では若干もったいないと言っていましたが、完成した時に物凄く良かったという感想をいただいた時。」
明るさや風通し	「強風があたりやすい場所の建築で、採光、採風が調整できる風除室をつくり、玄関が明るくなった。」
照明や配線	「センサー照明を採用」

靴以外も含めた収納の使いやすさが成功のポイント

靴以外にもアウターやゴルフバッグ、ベビーカーなど外で使うモノの収納もシューズクローク内に含めることで使い勝手が向上したという回答が複数見られた。また、動線に関しては家族用と来客用で動線を分けることや、直接水回りまでの動線があると帰宅後の流れもスムーズになるといった意見も見られた。

Q：玄関・シューズクロークの間取り提案で特に印象に残っている失敗事例の
ポイントを教えてください。



特定の要因が失敗に つながるわけではない

どの項目にも大きな差はなく、回答にばらつきが見られた。

家族だけでなく来客も通る玄関やシューズクロークでは、見た目のデザイン性だけでなく収納量や使い勝手、動線などの機能面も含めて総合的に考慮しないと満足を得られない空間であることが想定できる。

Q：前の質問（玄関・シューズクローク）で選んだ失敗事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

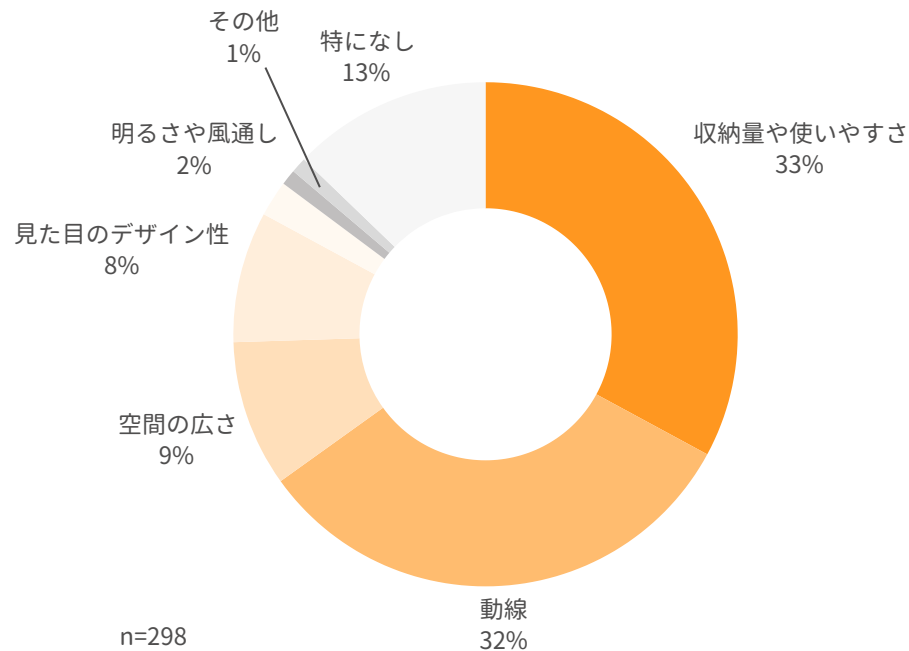
n=103

空間の広さ	「説明していた広さがお客様に実感として伝わってなくて、完成後に狭いといわれた」 「扉付きの下駄箱をシューズクローク内につけたら、扉を開けた時の空間が狭くて圧迫感があった。」 「お客様持ち込み家具が収まるはずが巾木タイルの厚さ計算違いで数ミリ幅が変わって入らなかった」 「マンションで隠れていた躯体柱の正確な寸法が不明だったため設計より若干狭くなった。」 「広すぎても床にモノを置きがちになる。」
収納量や使いやすさ	「お施主様の想定と実際の収納量が整合性が取れず物があふれた。」 「開放性を重視しすぎると収納量が減ってしまう」 「玄関を広くしたいという要望からSCを狭くしたことで、可動棚を付けると人の行き来がしづらくなった事がありました。」 「扉を開くと土間に置いた履物に干渉する。」 「土間と玄関ホールとのつながりがあるため、パイプの位置などがフロアの高さと土間の高さで微調整ができなかったし、お客様もイメージができていなかった」
明るさや風通し	「窓の計画が無く、暗さと臭いが気になってしまった」
動線	「ウォークスルーのシューズクロークだが間取り的に通路が狭いプランしかできない」 「二方向の出入りを重視した結果、リビング入り口脇に配置になり、中が丸見えになってしまった。」
見た目のデザイン性	「収納量を多くとりたいため全面収納にしたら、収納量は確保できたが、飾り棚などがとれず、ややさびしい印象になった」 「収納力はあるが美しくない、生活感が出てしまいお客様を玄関に入れたくない状態になってしまった。」 「玄関からシューズクロークへの出入口用引戸が玄関巾木によって取付高さを変更しなければならなかった」
照明や配線	「大型玄関収納の扉が90度までしか開かない仕様で、キャビネットが黒ベースであったため、照明が届かず収納物が良く見えない計画となった」 「収納開口・収納設置によるスイッチ位置に苦戦」
その他	「時代のはやりでお施主様が希望したが実際の生活とあっていない」

シューズクロークの作りこみに失敗しやすい

空間の圧迫感・適切な収納量・通路幅の調整・窓の計画などシューズクロークを作りこむための多くの要素を考慮しきれずに失敗してしまう様子が想定できる。

Q：洗面・ランドリーの間取り提案で特に印象に残っている成功事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

収納量と動線の 両立が重要

「収納量や使いやすさ」（33%）と「動線」（32%）で65%を占める結果となった。
作業が多い水回りでは収納量だけでなく家事を楽にするための動線も考慮することで満足度の高い提案につながることが想定できる。

Q：前の質問（洗面・ランドリー）で選んだ成功事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

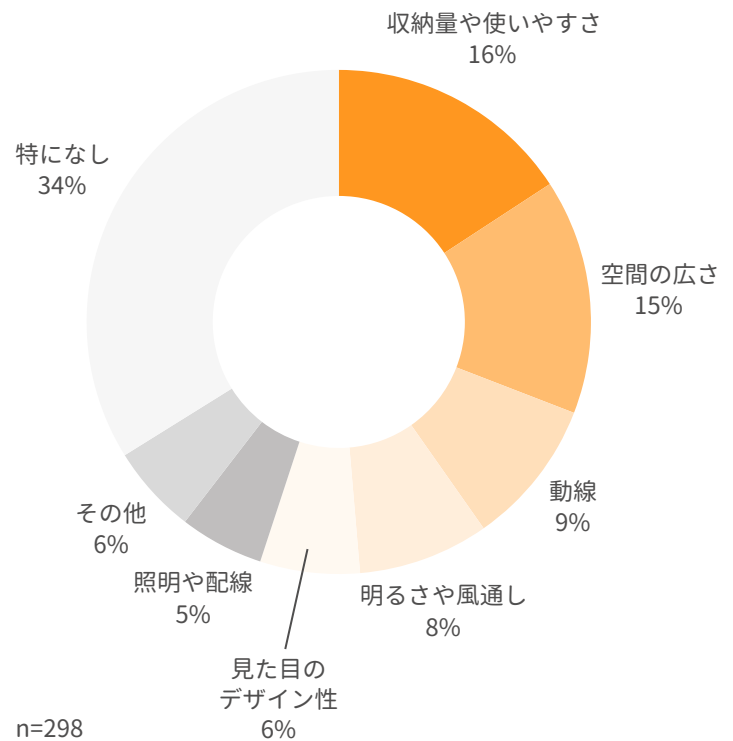
n=137

収納量や使いやすさ	「一番収納を確保するのが難しい空間だが、最も収納計画をしっかりとっておかないと、一番掃除がしづらく片付かない空間になるから」 「最近、洗面と脱衣を分けたい要望が増えている。脱衣での収納(タオル類や下着)が重要」 「洗濯機の上に架台で大阪ガスの乾太くんを置く例が多いが、乾太くんの位置を下げて使いやすくするために、洗濯機上ではなく、洗面所内で別でカウンターを作り、乾太くん置き場にした。」 「物干し竿の下に引出し収納を設け、動線を意識した収納にした」 「造り付けの家具を設けることで、どう収納するか の決め事がしやすくなったと好評でした」 「洗面台を設置している前面の壁をマグネットパネルを使用して、浮かせる収納ができるようにし、掃除を楽にできるよう工夫し喜ばれました。」
動線	「小学生位の男子がいる家庭で玄関から直に洗面動線とし手洗いや汚れた服を最短に入れる動線をつくった」 「洗濯機、乾太くん、室内干し、洗濯物をたたむスペース、アイロンをかけるスペース、収納場所をランドリールームにまとめることで家事動線が楽に」 「家族構成に応じて、女性が多い家は洗面と脱衣室を分けたり、人数が多い家庭に対しては洗面家事室等、作業性や機能性にポイントをおいた設計が評価されました。」
空間の広さ	「洗面・脱衣・ランドリースペースを同時に取り、空間と収納量を確保できた」 「乾太くん、室内干しスペースの確保」 「脱衣室が広いと寒く感じる場合があるので、洗面・ランドリーと分けるようにしています。」
見た目のデザイン性	「ホテルライクな見た目にこだわった」 「洗面室に床から天井までの鏡を設置し、広さ感を演出した。」
明るさや風通し	「ミラーと洗面の間を窓（フロストガラス）にすることで、明るく清潔な洗面で毎朝を迎えられることができた」
照明や配線	「大きな鏡を単体でつけてその左右に蛍光灯を付けた（女優ライト風）」

収納の作りこみ・空間の配置が成功のポイント

玄関→水回りの帰宅動線や洗濯→乾燥→畳む等の作業→収納の生活・家事動線に合わせた空間配置の工夫に、乾太くん置き場や物干しスペースの確保、掃除がしやすくなるような浮かせる収納など、**家事を楽にするための収納や使い勝手の工夫**を組み合わせることが成功のポイントだと想定できる。

Q：洗面・ランドリーの間取り提案で特に印象に残っている失敗事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

特定の要因が失敗につながるわけではない

どの項目にも大きな差はなく、回答にばらつきが見られた。

水回りは多種多様なアイテムをしまうための収納量や、家事を楽にするための動線・空間の広さの必要性があることから、あらゆる要素を考慮しなければならないことの難しさがあることが想定できる。

Q：前の質問（洗面・ランドリー）で選んだ失敗事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

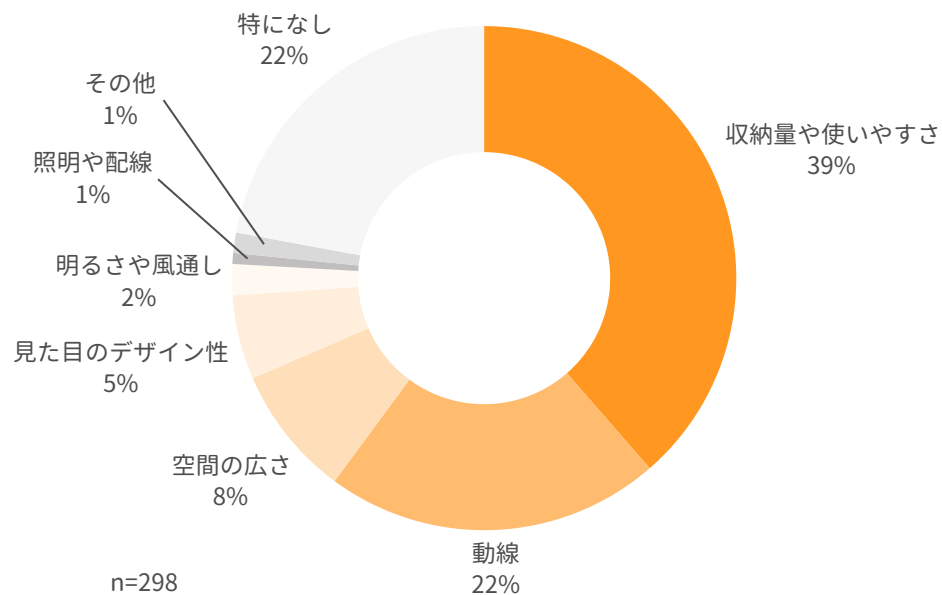
n=78

収納量や使いやすさ	「洗濯物干し垂れ下がり圧迫感、洗剤・乾燥させた衣類タオル収納スペース問題」 「乾太君の上に畳んだりのスペースを見込んだが高さが高すぎたこと」 「窓を大きくして収納量が減ってしまった。」 「固定の室内物干し金物の位置を壁に寄せすぎてしまい、洗濯物があたってしまいました。」
空間の広さ	「洗面脱衣室が一坪しかない。ストック品が収納しきれない。」 「洗面室を別にすることを優先したことでランドリースペースが狭くなりがちになった」 「乾太くんを設置する際に広さが十分に足りなかった。」 「他の部屋を優先する事でユーティリティーが狭くなり内干しがやりにくい。」
動線	「洗面と脱衣の位置。分離型が良かったもののやはり近くにあるべきだった。」 「洗面上に干場を設けたため、干していると洗面が使いにくい」
明るさや風通し	「北側につけたランドリールームが思ったよりも乾きにくいと言われた。」 「サッシの設定を誤ったため、採光不足による作業効率の低下を招いてしまった。」 「現在の流行としては窓無しが主流となりつつあるがそうでないタイミングの時に空間の暗さを指摘された。」 「ガス乾燥機を使う場合に窓が無いと熱がこもる」
見た目のデザイン性	「お客様ご希望の洗面台イメージがあったが、予算の都合で標準洗面化粧台を使用した」 「乾太くんの設え方がダサくなった。」
照明や配線	「室内干しの上部にダウンライトが来てしまう。」 「洗面台を大きくしたためコンセントの位置が掃除機を使う時に使用しにくい場所になった。」
その他	「洗濯機の上に小さめの引違窓を設けたことで、背の低めの施主様が開閉がしにくいと申しており、そこまで気が回らなかったことが失敗例です。」 「外の寸法は問題なかったが、内法寸法（造作のため、図面に出ない桟などの厚みがあった）で数ミリの誤差があったため、持ち込みの収納が入らず、作り替えになった」

ランドリースペースの作りこみに失敗しやすい

乾太くん・物干しスペース・作業スペース・収納など、ランドリースペースを作りこむための多くの要素を考慮しきれずに失敗してしまう様子が想定できる。

Q：ファミリークローゼットの間取り提案で特に印象に残っている成功事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

収納量や使いやすさが成功のカギ

最も多かったのが「収納量や使いやすさ」（39%）であり、**家族全員分のモノをしまえる十分な収納量や整理整頓がしやすく使いやすいことが成功のポイントだと想定できる。**次いで「動線」（22%）も高い割合を示したが、家族全員が日常的に通る空間として動きやすさやアクセスのしやすさが毎日の生活を快適にするポイントだと想定できる。

Q：前の質問（ファミリークローゼット）で選んだ成功事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

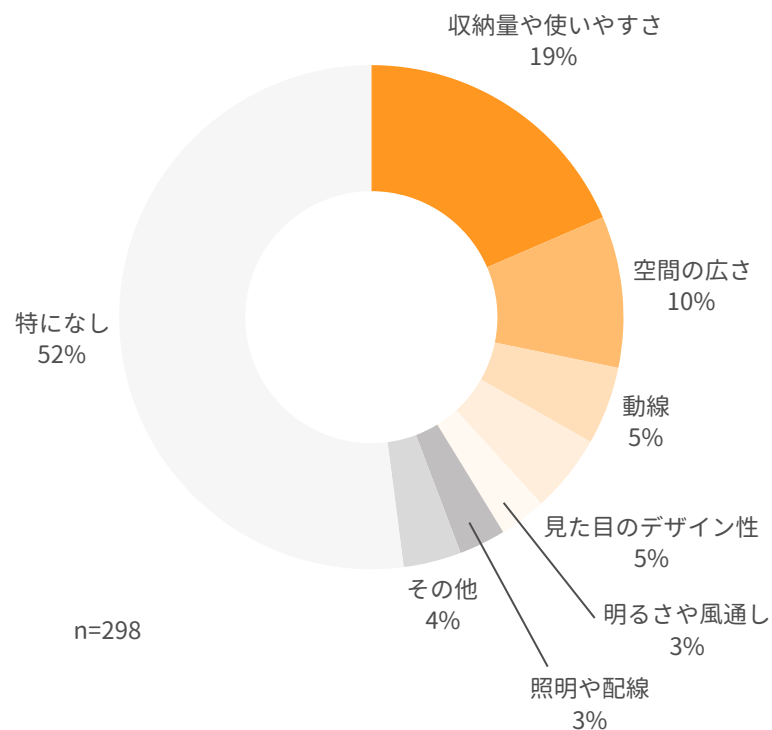
n=113

収納量や使いやすさ	「1階にまとめてしまえる空間があると便利だと言われた。」 「大きいクローゼットにハンガーパイプだけだったので棚板付き収納を設置」 「ファミリークローゼットの出入口を部屋の中心辺りに持つていくことで部屋の両サイドにハンガーパイプを取り付けることができ、収納量があがったことです。」 「お施主様の意向ですべてをハンガー掛けにして、ハンガーをすべて揃えると、使いやすくすっきりしたクローゼットになった」 「収納ケースがシンデレラフィットした！」
動線	「玄関～SIC～FCLの動線が確保できた時」 「家族共有のクローゼットを水回り近くに提案し洗濯と着替えの動線を上手く整理出来ました」 「これも洗面室横⇄キッチンに設けた事例で好評だった」
空間の広さ	「階段下を空間として使用したことで、通常以上の空間を確保出来た。」 「吊す、置く、引っ掛けるの適度な収納計画とファミクロの中で着替えられる」 「WICから壁面クローゼットに変更することで使いやすく、居室面積が大きくなった」
見た目のデザイン性	「作り込んだ収納は綺麗でストレスの緩和になることを実感」
明るさや風通し	「FIX高窓あるだけで全然違う」
照明や配線	「広さを取るとどうしても暗くなりがちなクローゼットに間接照明を設置し、使用しやすくしました」
その他	「仕切り板で区切り、上着掛けだけでなく靴やお稽古用袋、部活用品などをしまえるようにした」

家族の動線上に使いやすい収納の設置が成功のポイント

各家庭のモノに合わせた収納量や配置などを考慮することで使い勝手の良いファミリークローゼットが提案できたことが分かる。また、その上でファミリークローゼットを1階に配置することや、玄関・水回りとの動線も考慮することで満足度の高い提案につながると想定できる。

Q：ファミリークローゼットの間取り提案で特に印象に残っている失敗事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

失敗のポイントも 収納量や使いやすさ

「収納量や使いやすさ」（19%）が、成功事例のポイントと同様に回答数が最も多かった。ファミリークローゼットは家族分の衣類や物品が収められる空間であるため、収納量や使いやすさなどの機能が最も問われる空間であることが分かる。

Q：前の質問（ファミリークローゼット）で選んだ失敗事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

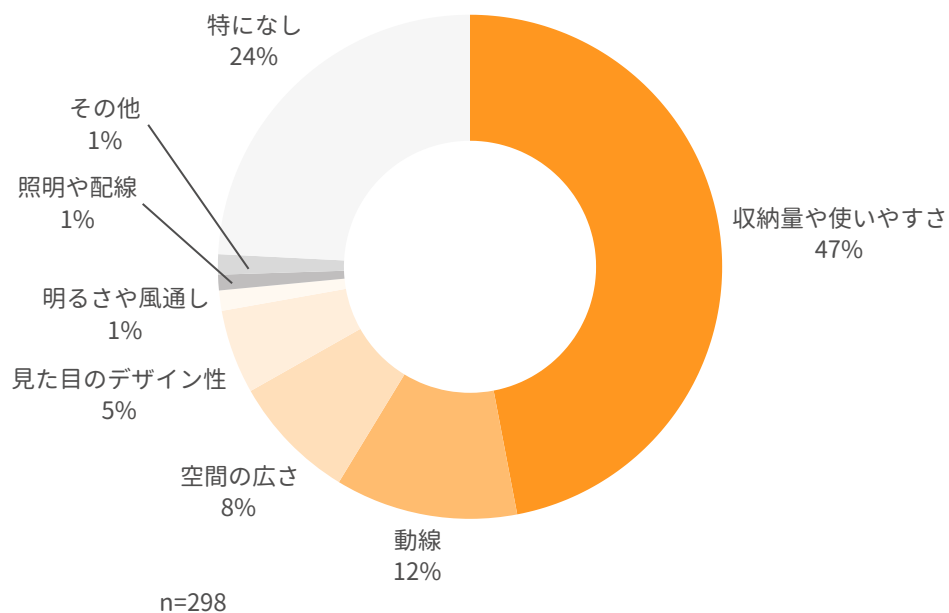
n=62

収納量や使いやすさ	「棚を付けすぎて何に使うのか解らなくなってしまった」 「枕棚の高さを一般的な高さにしたところ、「置く」スペースとしては使いにくいという指摘。お手持の何をしまいたいのか、細かく確認していくべきだった」 「奥行きが深すぎて、詰込みタイプの収納になってしまったこと」 「入隅のパイプは使いにくい」
空間の広さ	「多めにとると無駄な空間となる いらない物が溜まる」 「狭くて、両側にハンガーを掛けると、通路が狭かった」 「3畳以上はほしい」
動線	「スペースが確保できても、物干しスペースと離れると使い勝手が悪い」 「アクションを減らした方が良かった。建具は入口からして不要だったことあり。」 「2Fで個室化したがゆえに面倒」
見た目のデザイン性	「玄関に外套やバッグを置くためのファミリークローゼットのようなものを設けたが、あまりに丸見えになった。お客様は動線に大満足していたが、私としては生活感が出過ぎるので失敗だと思っている。」
明るさや風通し	「広さを重視したため、奥の方が暗くなり、後から間接照明をつけることになり苦労しました。」 「ダウンライトがしまう洋服で影を作ってしまう全体的に足元が暗いこと」
照明や配線	「両サイドに枕棚+ハンガーパイプ配置で中心に照明を付けるはずが施工上ずれたり物陰で照明があたらなくなったこと」
その他	「家事・書斎コーナー風のしつらえをクローゼット内に入れたが狭く機能しなかった。」 「ファミリークローゼットと物置を兼ねると、ごちゃごちゃするしクローゼットの機能性が悪くなった」

モノの住所を決めていないことが失敗のポイント

モノの住所を決めていなかったことで使い勝手が悪くなってしまったなどの意見があった。また、多めに空間を確保したとしても無駄な空間が生まれるだけだという意見もあり、何をしまうかを明確に決めてから必要な広さを確保するということが重要であるかが分かる回答結果となった。

Q：ウォークインクローゼット・クローゼットの間取り提案で特に印象に残っている成功事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

収納量や使いやすさを最優先

圧倒的に「収納量や使いやすさ」（47%）の割合が高い結果となった。

ウォークインクローゼットやクローゼットは家族以外の人には見えない部分かつ、家族は毎日使用する空間でもあるため、いかに**家族にとって使い勝手の良い収納空間**であるかが最も重要視されるためだと想定できる。

Q：前の質問（ウォークインクローゼット・クローゼット）で選んだ成功事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

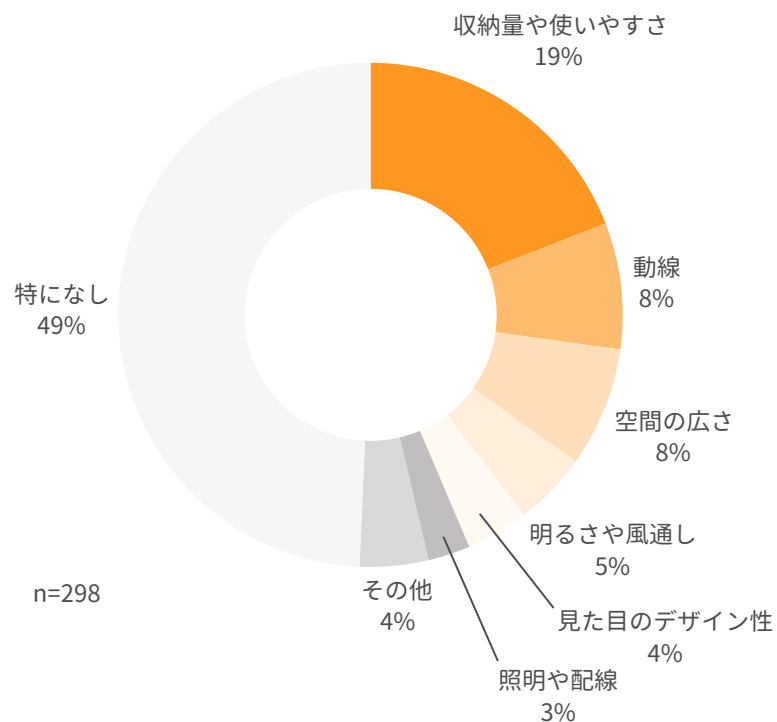
n=96

収納量や使いやすさ	「洋服だけでなく、下着類、装飾品、鞆、スーツケースなどの収納場所を考慮」 「衣服の収納のみでなく、夏掛け・冬掛蒲団との収納も考慮する」 「子供室のクローゼットに棚柱での棚・パイプを提案し、成長に応じて高さを変えられるようにした。」 「収納量以外にも姿見鏡の設置等その空間でクライアントが何をしたいかを徹底的にヒアリングしています。」
動線	「寝室に入らずに行けるウォークインクローゼットは夫婦の生活時間帯が異なるご家族に好評」 「部屋と部屋をつなぐ空間を収納とし、ウォークスルー収納とした。狭い公団地のリノベーション提案だったが、狭さを凌駕する印象の良さと収納力を確保できたと思っている」
空間の広さ	「ただ広いだけでは奥行きがありすぎると使いづらいので、使いやすい奥行と動線を考慮した広さがよい。」 「天井高が低くパイプが2段取れない所の床を下げて空間を確保した。」 「ファミリークローゼットの場合、収納だけではなく着替えもできる方が良い」
明るさや風通し	「閉鎖された空間ではなく、通風の開口を天井に近いところへ設けた」
見た目のデザイン性	「クローゼットの中の壁紙を華やかにすることで、衣装合わせのテンションの上る空間になって喜ばれた。」
照明や配線	「扉を開けると照明が点灯するようにした。」
その他	「天井高が低くパイプが2段取れない所の床を下げて空間を確保した。」

衣類収納以外の機能を持たせることが成功のポイント

衣類だけでなくバッグやスーツケース、寝具類など、収納場所に困るモノもスペースや姿見などをあらかじめ考慮しておくことで利便性の高いクローゼットになることが分かる。また、子どもの成長に合わせて高さを変更できるように工夫することで使い勝手の良いクローゼットになることが分かる。

Q：ウォークインクローゼット・クローゼットの間取り提案で特に印象に残っている失敗事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

失敗のポイントも 収納量や使いやすさ

成功事例と同様に、「収納量や使いやすさ」（19%）が最も高い割合を示し、クローゼットでは収納が主な機能であるため、その部分をきちんと考慮していないと失敗につながりやすいと想定できる。

Q：前の質問（ウォークインクローゼット・クローゼット）で選んだ失敗事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

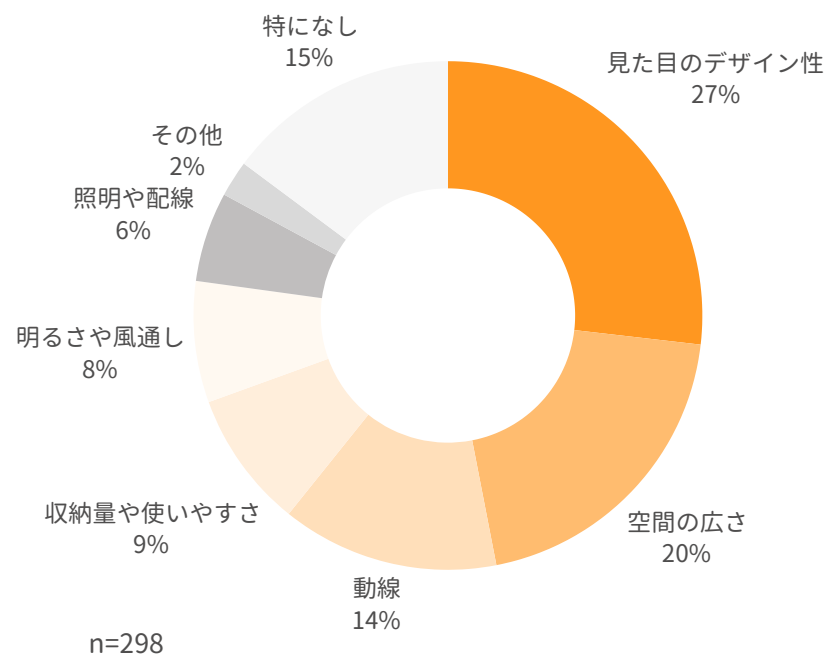
n=58

収納量や使いやすさ	「ハンガー掛けばかりで、バッグなどの小物の置く空間を作らなかった。」 「枕棚の高さが高すぎて、使いにくいと指摘された」 「パイプを2段にしたときに上の段にかけた服が下の段にかかって使いにくくなっている事例があった。」
動線	「生活時間帯を考慮せず、寝室からアクセスするウォークインにして失敗」 「寝室にくっつける場合、位置によってはWIC明かりが夜眩しい。」
空間の広さ	「両側に服を掛けると真ん中が少し狭い」 「ただ広い空間を作っただけでうまく利用できなかった」
明るさや風通し	「窓が無く換気扇も付けなかった為 カビが発注」 「湿気がたまってしまったことが。寝室の横にWICがあり、冬よく加湿する場合は注意が必要」 「空気だまりになって、においなどもっている」
見た目のデザイン性	「寝室からのWIC実際に扉を付けないので、完成した後、収納しているものが丸見えなのはどうかのだろう…とよく思う。」
照明や配線	「衣服とセンサースイッチが干渉し上手くセンサーが作動出来ずご迷惑をおかけしてしまいました」
その他	「想定以上に物を置かれ、棚板がたわんでしまった」

実際に使うシーンの想定不足が失敗のポイント

衣類以外の収納場所の確保ができていないことや、枕棚やパイプの高さが実際使用すると使い勝手が悪いと指摘されたことなどが挙げられた。これらのように実際に使うシーンが想定しきれていなかったことが失敗要因の一つだと分かる。

Q：リビング・ダイニングの間取り提案で特に印象に残っている成功事例の
ポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、
合計が100%にならない場合があります。

デザイン性の高さや 広さが成功ポイント

リビング・ダイニングでは「見た目のデザイン性」（27%）が最も多く、次いで「空間の広さ」（20%）という結果となった。

1日の中で家族が最も多くの時間を過ごすリビングやダイニングでは、**リラックスできる空間のデザインや雰囲気づくりが第一に優先される。**

Q：前の質問（リビング・ダイニング）で選んだ成功事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

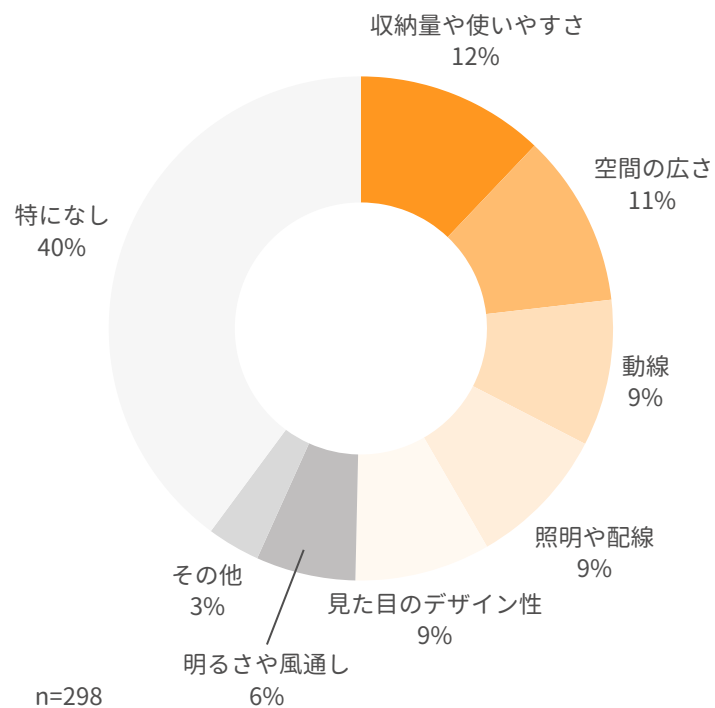
n=114

見た目のデザイン性	「天井高を出すために梁を出して、木目のクロスで仕上げた。」 「壁面のオープン収納もすべて壁とコーディネートした仕上げ（木染色）とし、統一感のある空間になった」 「階段と吹き抜けを一体にしたリビング空間。手すりもおしゃれにして見た目も広々としてお施主様も喜んでいた。」 「TVボード、壁面収納などの建物一体のデザイン性の高いものが喜ばれた。」
空間の広さ	「和室とリビング・ダイニングを一体の空間として提案し解放感を確保できた」 「吹き抜けを使って延床面積は狭くても、広くみせる工夫をしています。」 「部屋隅と隅の目通しを長くすることで広く感じさせる工夫をする。その際、できるだけ家具類を視野内から外すように配置する。」
動線	「広いリビングにしたいとの要望でリビングから玄関階段トイレ洗面所全てにいける間取りにした。その結果、キッチントイレ洗面所が近くなり、打合せ時はキッチン横のトイレに抵抗を示されていたが、結果的には動線がよく使いやすい様子。」
収納量や使いやすさ	「奥行きがあまりない棚でもリビング・ダイニングではこまごまとした小物をかごや仕切りの付いたもので細かく収納した」 「収納の中にコンセントをつけ、掃除機の充電ができるようにした」 「押入をリビング収納にリフォーム。深さを活かして手前に掃除機充電&収納スポットをつくったりと奥行があることで余裕のある収納に。」
明るさや風通し	「午前中（特に朝日が入る時間）の採光が得られる場所にダイニングをレイアウトする」 「隣家との距離が近い物件で、吹き抜けを提案し、明るく風通りの良い空間とすることができた」 「大幅なリノベだったのでいっそのこと2階をリビングダイニングに変更しませんかと提案。断然日当たりと風通しがよくなった。」
照明や配線	「シーンごとに調整出来る照明プランを提案して 喜んで頂いた」 「リビングの吹き抜け天井部分にコーニス照明や折り上げ天井を、オープン階段ステージ部分に間接照明を配しドラマティックな空間に出来た」 「明るくしがちな照明計画ですが、御施主様とのこまかなやりとりで最適な「心地いい明るさ」の空間をつくれた」
その他	「和室⇒洋リビングにした時 既存の書院を書斎コーナーに利用できた（書院障子で和モダン）」 「とても狭いLDKでしたが、これから生まれるご予定のお子様のことを考え、少しでも赤ちゃんのお世話をしたり、お子様が遊べるようなキッズスペースを作るように工夫したところ、競合他社に勝つことができました。」

リラックス&広く見せる空間づくりが成功のポイント

デザイン面では間接照明やクロス・収納の統一感などの工夫をしたり、空間づくりではワンフロアにしたり吹き抜けを活用するなど、いずれも**限りあるスペースを広く見せ、家族がリラックスできる空間づくりを配慮している**ことが分かる。

Q：リビング・ダイニングの間取り提案で特に印象に残っている失敗事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

リビングはデザイン だけが重要ではない

成功事例では「見た目のデザイン性」や「空間デザイン」の割合が高かったが、失敗事例には回答にばらつきが見られた。

デザイン性や広さに注力される空間ではあるものの、「収納量や使いやすさ」（12%）が最も高い割合であることから、**リラックスしたい空間が散らからないようにする提案も必要**ということが想定できる。

Q：前の質問（リビング・ダイニング）で選んだ失敗事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

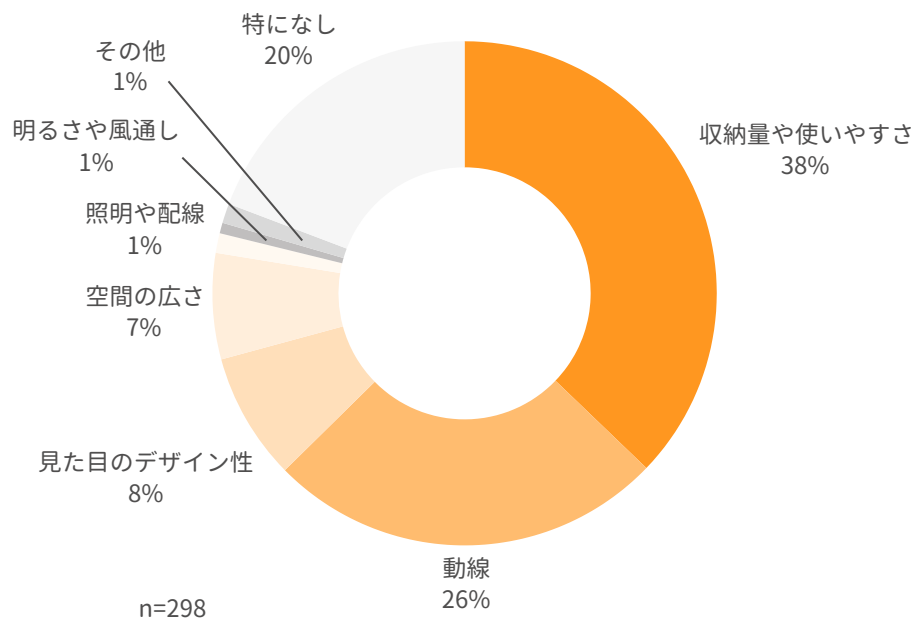
n=56

収納量や使いやすさ	「リビングに収納がないと散らかりがち」 「収納をつけないリフォームだと自分で家具をそろえる必要があり、色のバランスが難しくなる。」
空間の広さ	「ただ広い空間でデッドスペースができてしまった事」 「広さを重視すると、どうしても収納の確保が難しく掃除道具を置く場所の確保が難しかったことがあった。」 「お施主さんの要望に影響しすぎた広すぎるスペース。」 「予算の関係でどうしても削られたが、収納ひとつ無くしてでもLDKはやっぱり広い方が良い。」
動線	「玄関から丸見え」 「テレビの前が通り道になる」 「キッチンダイニングの横並びで動線が長くなってしまった」
照明や配線	「予定した場所と違う場所にTVを設置。コンセント等移動する事になった。」 「吹き抜けなど複雑な空間の計画で、ペットのゲージ空間が暗くなってしまった。」 「間接照明なのに器具がみえてしまった」
見た目のデザイン性	「テレビの背面の壁をアクセント的な仕上げにしたが、意外と面積が大きく、間延びしてしまった」 「お子さんのおもちゃが予想外に多くあふれていた」
明るさや風通し	「吹抜け上部の窓にカーテンを入れないと日差しが暑すぎる」 「吹抜けを無駄な空間とされ、吹き抜け空間にあたる部分に部屋を設置することになったが、1階のPLAN変更を許されず、暗く風通しの悪いリビングになった」
その他	「静かに過ごす部屋の上部に水回りを計画してしまいお引渡し後、対応に苦慮してしまった」

バランスの悪いリビング計画が失敗のポイント

広さ重視で収納量が確保できないやそもそも収納がないなどの広さと収納とのバランスに加え、動線計画の失敗、照明計画の失敗など様々な意見が挙げられた。「見た目のデザイン性」や「空間の広さ」を重視する空間ではあるものの、**収納・動線・照明など他の要素も加味したバランスの良い提案でないと失敗につながる**ことが想定できる。

Q：キッチン・パントリーの間取り提案で特に印象に残っている成功事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

収納量や動線が成功 のカギ

「収納量や使いやすさ」が38%と最も高く、次いで「動線」（26%）という結果となった。

キッチンで行う日々の作業をストレスなく行うために**キッチン空間の収納の充実やスムーズな動線**を考慮して提案できれば、成功につながりやすいことが想定できる。

Q：前の質問（キッチン・パントリー）で選んだ成功事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

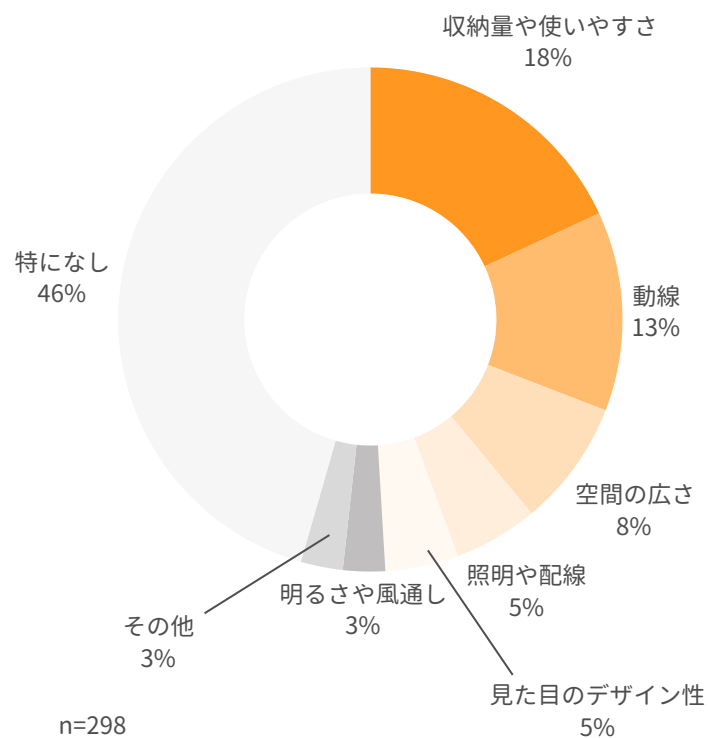
n=102

収納量や使いやすさ	「パントリーを望まれるお客様が増えたと感じるので 少しの空間でもパントリーを提案するととても喜ばれる」 「パントリー収納は奥行を浅めにし、収納品を取り出しやすく管理しやすくしたこと」 「施主様の要望でキッチン収納は食器、家電や冷蔵庫まで収納でき隠せる収納ができた。」 「最近、専用冷凍庫を置く家が増えたので、冷凍庫を踏まえたパントリー提案」
動線	「玄関→パントリーの動線は買い物したあとの動線が楽だと好評だった。」 「キッチン～パントリー～勝手口～ガレージの動線」 「キッチン→パントリー→洗面室の回遊動線はやっぱり使い勝手がよかった」
見た目のデザイン性	「カウンターキッチンで上部の収納棚・垂れ壁を撤去して部屋を広く見せるようにした」 「比較的、来客に見えづらい場所にあるので、思い切ったデザインのクロスで冒険ができた。」 「特注で海外風の作り付けの食器棚をつくったこと。インテリアの雰囲気に合わせて作成したので印象的な収納に。」 「キッチン笠木を良いものにすること」 「キッチンには出来るだけ物を見せたくないとの要望だったので、パントリーに冷蔵庫も収納」
空間の広さ	「キッチン横を広めにとったことによりデッドスペースが出来そうだったところをパントリーにすることが出来た」
照明や配線	「埋込ライン照明できれいに施工できたこと」
その他	「キッチンに立った際に、LDK全体を見渡すことができ、小さなお子様に目が届くように工夫した」

パントリー設置と家電隠しが成功のポイント

整理や管理がしやすいパントリーの計画や、冷凍庫や冷蔵庫などの家電を隠せるような提案が喜ばれたという意見が見られた。キッチンやパントリーそのものの使い勝手だけでなく、作業効率を意識した玄関からの動線や、水回りとの動線も意識することで満足度の高い提案が行えることが分かる。

Q：キッチン・パントリーの間取り提案で特に印象に残っている失敗事例の
ポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、
合計が100%にならない場合があります。

収納や動線で失敗 しやすい

「収納量や使いやすさ」（18%）や「動線」（13%）が他の項目と比べて高い割合を示した。

収納や動線の計画不足がキッチン・パントリーでの作業効率の低下や日々の家事のストレスの原因となることが想定できる。

Q：前の質問（キッチン・パントリー）で選んだ失敗事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

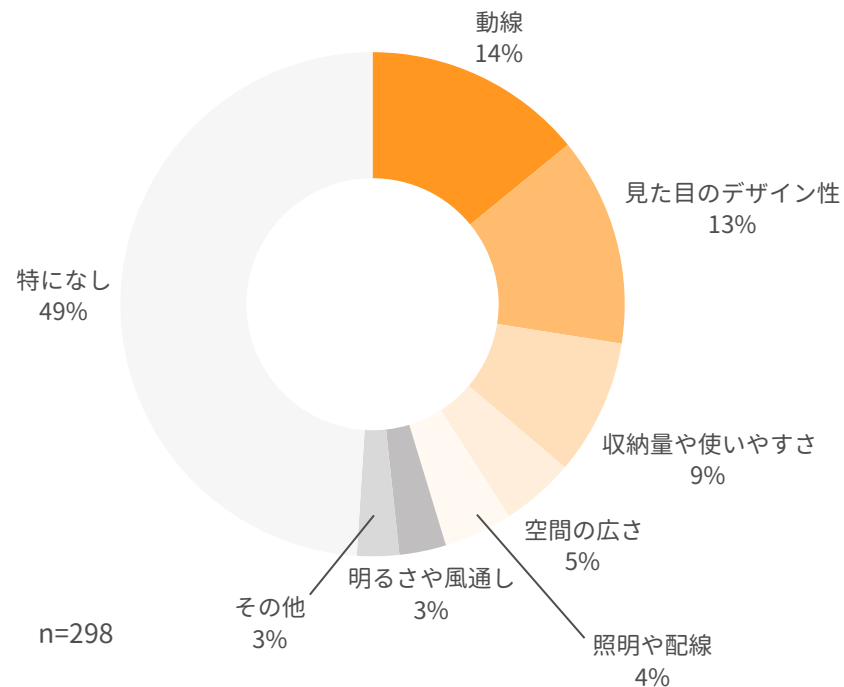
n=59

収納量や使いやすさ	「パントリーに納めれる食品の量が少なくなってしまった。」 「上部の収納は取り出すのに不便でした。施主様の体の状態や使用する物の確認必要。」 「可動棚の寸法を考えてつけないとゴミ箱の大きさ等探すのに苦労すると思います。」
動線	「玄関から遠い 買い物した荷物をしまいづらい」 「パントリーに冷蔵庫を入れると動線が悪くなってしまう。」
空間の広さ	「対面キッチンでキッチン背後の家具配置で人がたつ空間幅が狭くなったこと」 「アイランドキッチンは、広い部屋でないと、キッチンの空間がボリュームがあり過ぎてかえってリビングが狭くなる」 「幅が狭くて扉のあかないパントリー」 「後で個別冷凍庫を入れたいという要望が叶わなかったことがある」
見た目のデザイン性	「リビングから扉を開けていると、パントリーの中が見える配置はあまりよくなかった」 「キッチン周りにマグネットパネルをつけたが、リビングから貼ったもの丸見えになってしまっていた。」 「キッチンを更新して新しくなったのにカウンターが既存のままのため古臭さが残った」
照明や配線	「キッチンから続くパントリーなのでかなり家電をそちらに設置。棚の位置とコンセントの位置が難しかった。」 「（パントリーは）照明なしだと暗くて見えない場合がある。」
その他	「いつもの通りの冷蔵庫スペースを用意したが、お手持ちの冷蔵庫サイズが大きくなり入らなかったためカップボードサイズを変更するはめに。」 「狭い空間に扉を開けての作業がしずらく、扉がない方が使いやすかったと思う」

実際に使うシーンの想定不足が失敗のポイント

パントリーの収納量不足や、棚の位置が不便だったなど**実際の使うシーンを想定できておらず失敗した**というような意見が見られた。また、玄関と離れることで買い物からの帰宅後の動線がスムーズでなくなってしまうことなども失敗例として挙げられた。

Q：その他の空間の間取り提案で特に印象に残っている成功事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

空間ごとに成功のポイントバラバラ

「動線」（14%）や「見た目のデザイン性」（13%）が他の項目と比べてやや高い割合を示したが、他の選択肢と比較しても大きな差は見られないことから、今回取り上げた6つの空間以外で特定の成功事例のポイントがないことが想定できる。

Q：前の質問（その他の空間）で選んだ成功事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

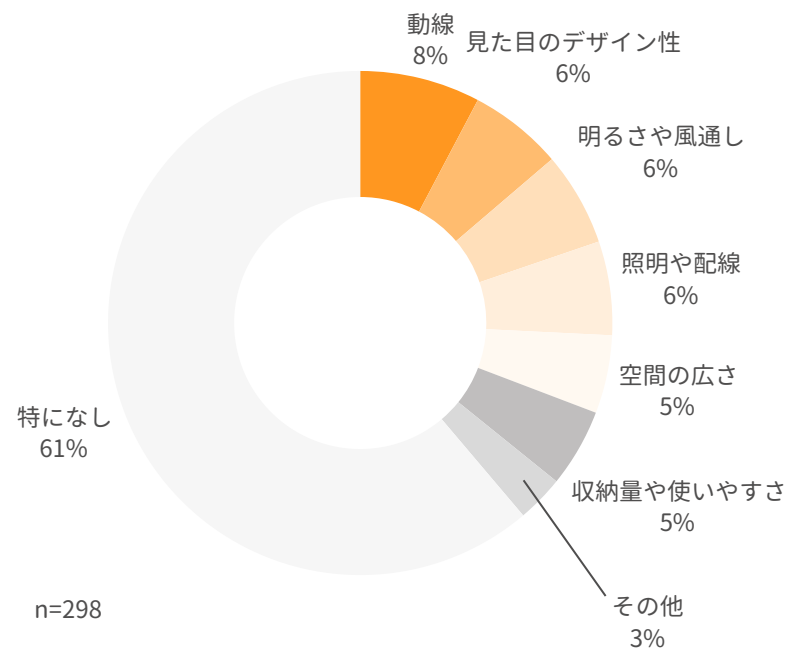
n=55

動線	「帰宅動線(玄関→シューズクローク→水回り)の動線は共働きのご夫婦から好評だった。」 「玄関収納と寝室の収納を繋げて一つのウォークスルー収納にしたのが好評だった。」
見た目のデザイン性	「リビングスケルトン階段仕様で明るさ、動線、空間広さが確保して、見た目もよかったこと」 「1Fから2Fまでつながった本棚を設置、図書館みたいにした。」 「小上がりの和室とオープンな階段を隣同士に設置したことで見た目も良く、空間も広く感じられた。」 「バイクガレージのある平屋で、玄関やリビングからショーケースのように眺められる間取り。」 「視線の先に何が見えるかが大切だと思いプランしている。狙った通りになった時は良かったと思う」
収納量や使いやすさ	「廊下に本棚をつくる」
空間の広さ	「吹抜けが取れなくてもスロープシーリング等で空間の広がり提案」 「なんでも突っ込んでおける物置のような部屋を作っておくのは非常に重要と感じた」
明るさや風通し	「納戸が空気の通りが悪いとのご要望で 間仕切壁に角度の調整できるガラリを設けたところとても喜んでいただけた」 「大きい吹抜を作り2階の部屋がオープンで明るく広く感じる」
照明や配線	「リフォームの世代（ご年配の方）では、昼と夜の目の疲れが睡眠にも影響するので、健康的なリフォームの一環としての照明計画を提案」
その他	「書斎のカウンターに穴をあけて配線のごちゃ付を解消した。」 「小屋裏に面積に含まれない天井高1.4m以下の収納兼趣味部屋を提案」

効率的な空間利用・個別ニーズの対応・細部への配慮

小上がり和室や廊下を利用した本棚の設置、オープン階段など空間を有効に使い喜ばれる提案ができたといった意見や、趣味であるバイクガレージの設置などの個別なニーズに対応した提案なども挙げられた。

Q：その他の空間の間取り提案で特に印象に残っている失敗事例のポイントを教えてください。



※ データは整数に四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

失敗原因に偏りなく

いずれも少数

どの選択肢も10%未満でばらつきが見られたため、今回取り上げた6つの空間以外で特定の失敗事例のポイントがないことが想定できる。

Q：前の質問（その他の空間）で選んだ失敗事例を具体的に教えてください。

【抜粋】

n=30

動線	「長い廊下がある間取りになったときは後悔した」
見た目のデザイン性	「窓の取り方で気が付かずとなりの家の窓に重なった場合。」
明るさや風通し	「リビング階段や吹抜けの希望にそった間取りを提案したが、部屋の熱い寒いと覚ることに個人差があり、冷暖房の効率に対応しきれない」 「吹抜上部のハイサイドライトから採光しようとしたが、思ったほど明るくならなかった。」
照明や配線	「デッドスペースに作業台とカウンター設置したが配線や照明位置が悪かった」 「机やベッドの位置は変わる前提で予備のコンセントを確保しないとけない。」
空間の広さ	「広すぎも落ち着かない」
その他	「吹抜け上部に設ける窓サッシのガラスを透明とした場合の汚れ」 「家電の種類が豊富な時代に対して、コンセントの位置、高さ、数の提案が難しい」

物件ごとに失敗原因は異なる

窓が隣の家の窓と隣接してしまったことや採光の明るさ不足、配線や照明の位置など、各物件に応じて注意する必要があることが分かる。

Q：現在注目している間取りのトレンドは何ですか？

【抜粋】

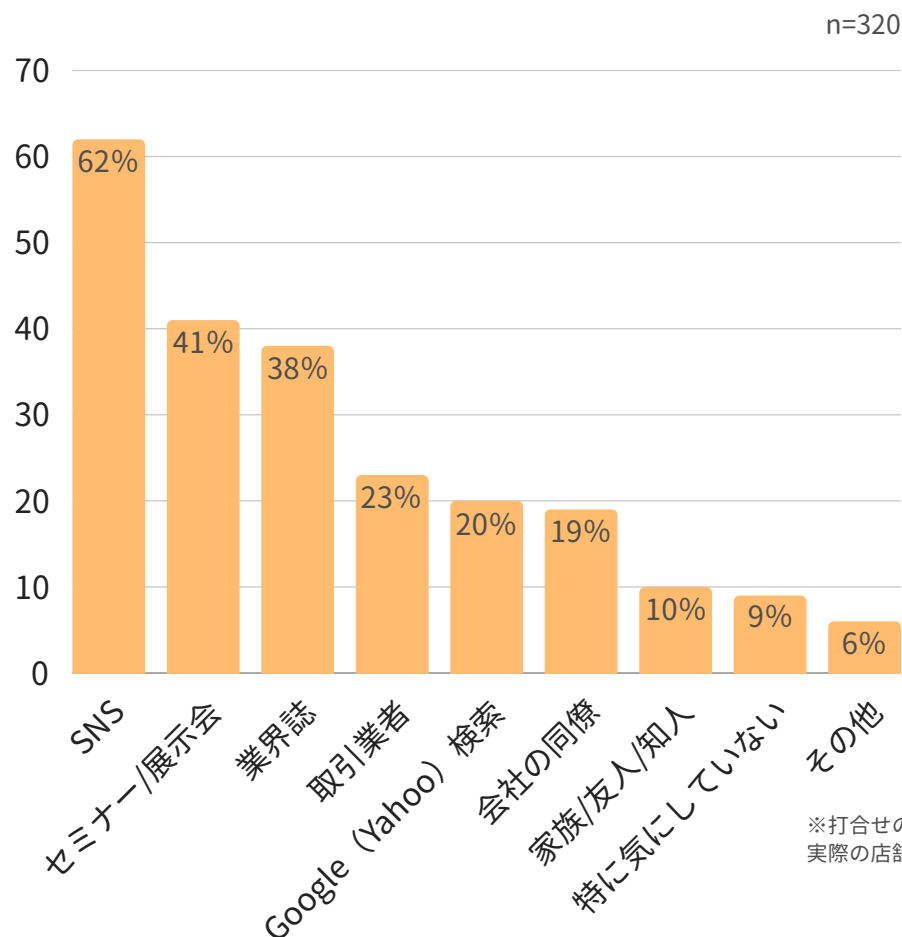
n=136

空間・場所	「ヌック」「中庭」「ランドリースペース」「シューズクロークとキッチン横のちっさいスペース。家事コーナーでも勉強スペースでも自由につかえる。」「インナーガレージ」「リビングに土間」「セカンドリビング」「パントリー」「シューズクローク」「デン」「玄関手洗い」「一階にファミリークロゼット」「ワークスペース」「居間の一部に家族共有のデスクカウンター」「玄関土間収納や洗面室とは別のランドリールーム」
動線	「効率的な家事動線」「家事ラク動線」「玄関からのお客様と異なる動線にファミリークロゼット。」「コロナ禍以降、玄関からサニタリーに回遊できる動線がやはり人気です」「回遊動線」「広めの脱衣スペースと続きのWIC」「ランドリールームから庭に出られる動線」「キッチン→パントリー→洗面」「ウォークスルークロゼットなど動線+収納」「広めの脱衣スペースと続きのWIC」
空間のつくり方	「平屋」「ワンフロア」「間仕切りの少ない大きな空間」「LDKをワンルームで広くとる」「コンパクトハウス」「廊下などの面積を減らす」「スキップフロア」「II型キッチン」「コンロとシンクのセパレートキッチンタイプ」「LD兼用の空間」「洗面脱衣室を広げる」「ベランダがない間取り」「参加型キッチン」「サニタリースペースをリビングに設ける」「キッチンのアイランド化、回遊性」「土間付きの空間提案」「平屋で子供部屋のプライバシーを確保した間取り（リビングと隣接していない、主寝室に近すぎない）」「リビングの高天井」「室内窓」「1階完結型間取り（将来1階だけで過ごせるように）」「食でつながる家族の絆→DK空間を生活の中心に」「明確な玄関の無い家」
収納関係	「見せる収納」「ウォークスルー収納」「建具をあえてつけない収納」「隠す収納」「リビング収納」「家事スペースの動線・収納力の良さ」「TV裏収納」「壁面ミラー収納」「マグネット使いの商品」
その他	「照明器具との連携」「階段手摺のみスチール製商品採用」「グレー調の内装デザイン」「フレキシブル」「カーテンレス」「素材を活かした間取り」「まちとつながる間取り」「防災 防犯」「デイベットの」「生活感の排除」「ホテルライクな生活」「都会の空き家をシェアハウスにリノベーションする提案」「複数の目的に対応できる間取り・しつらえ・設備」「モルタル ナチュラル木目の組み合わせ」「カラーグラデーションの内装」「モロッカ風」「マグネットパネル」「パッシブ住宅」

「ヌック」・「中庭」・「ワンフロア」が目立つ

空間・場所では、「ヌック」「中庭」などが多数挙げられた。空間のつくり方では「ワンフロア」や「間仕切りの少ない大きな空間」という意見が複数見受けられ、住宅面積が縮小傾向にあることからできるだけコンパクトな空間にあらゆる要素を詰め込むような間取りが注目されていることが想定できる。

Q：間取りのトレンドについてどのように情報を得ていますか？（お答えはいくつでも）



トレンドはSNSで 得ることが主流

最も多かったのが「SNS」（62%）であり、ビジュアルコンテンツが豊富にあり、情報も常に更新されている点から最も主要な情報源であることが分かる。

また、「セミナー/展示会」（41%）が続き、直接リアルな情報を得ることができる場も主要な情報源の1つになっている。

※打合せお客様の傾向・
実際の店舗の空間事例などから

Q：間取り提案においてあったらいいなと思う「収納に関するWEBコンテンツ」があればご意見をお聞かせください。

【抜粋】

n=91

収納量確認	「収納量が具体的に分かるコンテンツ」「一家族 収納に適した量（ものの量）」「耐荷重や収納量が直感的に分かるツール」「収納家具を細かくレイアウトと収蔵量のシュミレートが可能なコンテンツが欲しい。A Iが複数提案出来ると尚良いです。」
事例紹介	「施工写真の充実」「ビフォア、アフターの事例など」「主婦目線の見せる収納・隠す収納の事例やアイテムの紹介。」「各室ごとの事例写真の充実、着目ポイントごとの部分写真（アンケート集計によるとか）」「住宅の玄関土間部分（S I C内を含む）の多様な使い方 収納＋ゲスト対応スペース、収納＋書斎、収納＋趣味、など」
プランニング	「組み合わせが自由に選べ、定価見積と承認図が詳しく出てくるインターネットツール。今のものは組み合わせや間口が限られていると思うので。」「施主様でも簡単にシステム収納の組み立てができるようなものがあれば、提案の手間が省ける」
自動収納提案	「質問に答えていくと、おすすめの収納プランを教えていただけるようなコンテンツ」「部屋の大きさに要望を言うと自動で提案と見積もりしてくれる。」「収納したいものを選ぶと空間提案してくれるようなシミュレーション」「部屋名と部屋の大きさを入れたらおすすめの収納提案をしてくれるアプリ。金額も出ると尚可」
シミュレーション	「実際に収納する物を想定した提案が可視化できるツール」「WEBで持ちものを配置しながら組み替えられる見積シュミレーション」
寸法/サイズ確認	「各場所の収納に最適な詳細寸法やそれにあった部材をピックアップしてくれているコンテンツ」「家族構成における必要な収納のサイズや大きさ・数について」「収納物の一般的企画や寸法集」「収納するものによつての必要な空間の広さの提案があると嬉しいです。」
その他	「流行りの収納の提案等」「素敵な収納コンテスト、技あり収納コンテスト」「お施主様ユーザー様のコメント」

提案の手間が省けるコンテンツが求められる

収納量がどのくらいあるのかが直感的に分かるツールや、参考になる事例紹介、簡単にプランニングできるツールなど、提案のサポートになるようなコンテンツを求める意見が多数挙げられた。中でも自動で提案をしてくれるようなシミュレーションツールなども挙げられ、手間を極力省いてくれるようなものが求められていることが分かる。



アンケートへご協力いただき、本当にありがとうございました！



お問い合わせやご意見がございましたら、お気軽にお知らせください。

南海プライウッド マーケティングチーム